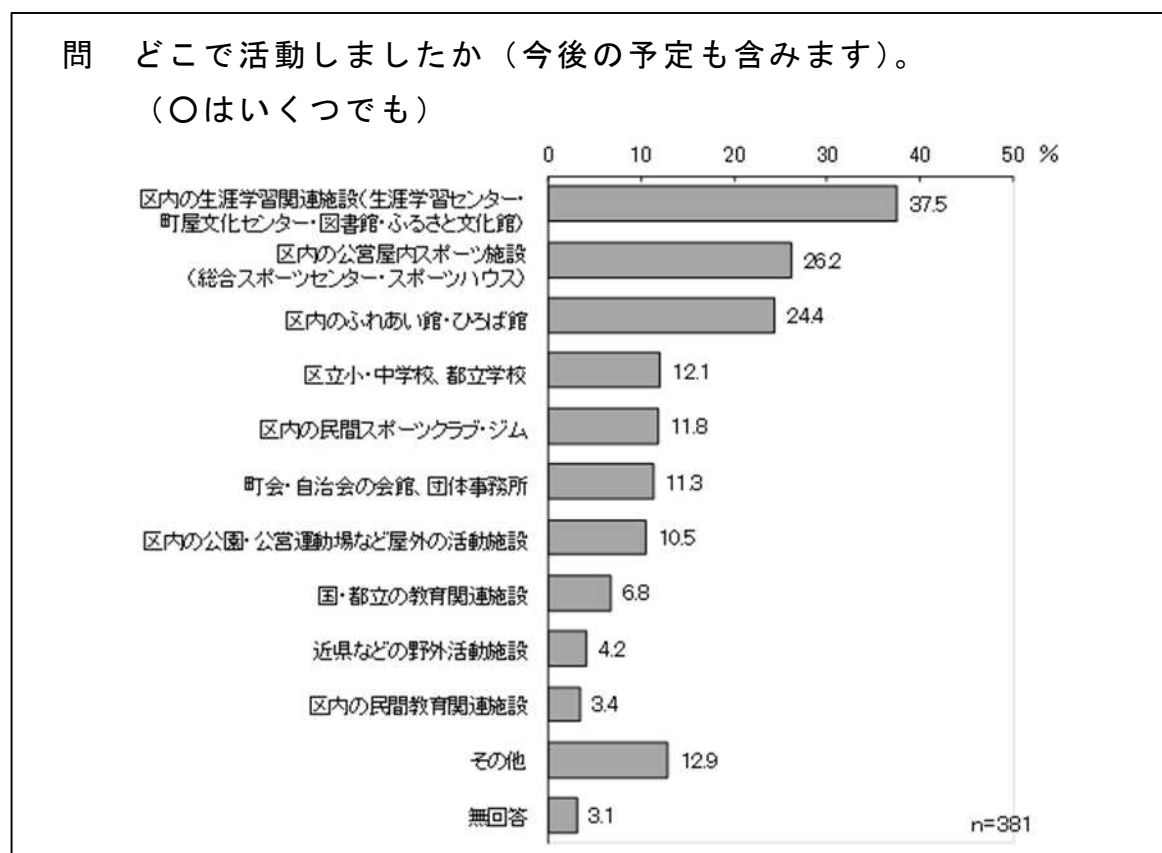


## 資料編

- 1 第41回荒川区政世論調査（平成28年度）  
結果
- 2 荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民  
アンケート調査結果
- 3 荒川区生涯学習推進本部設置要綱
- 4 荒川区社会教育委員名簿
- 5 検討の経過

## 1 第41回荒川区政世論調査（平成28年度）結果

## (1) 生涯学習の活動場所

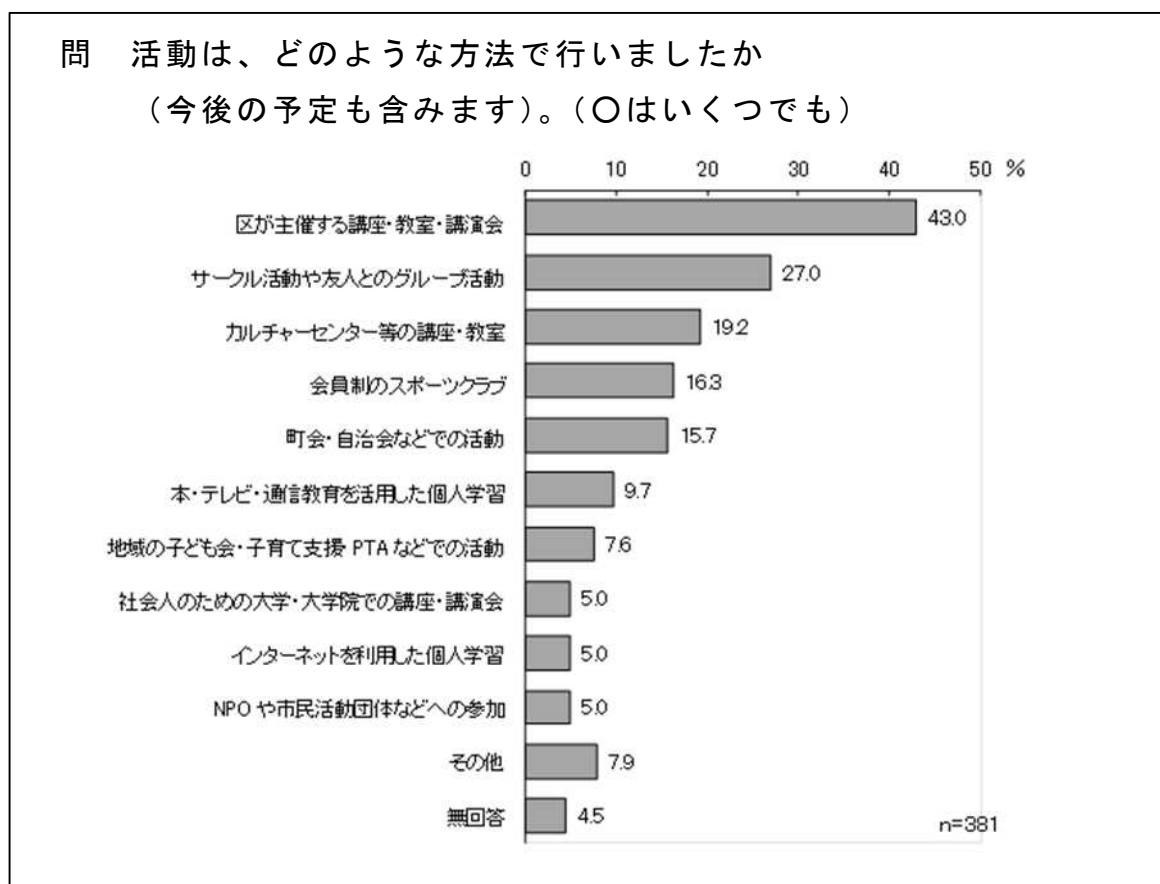


○ 生涯学習活動に参加（参加予定含む）の方に、どこで活動している（する予定）か聞いたところ、「区内の生涯学習関連施設（生涯学習センター・町屋文化センター・図書館・ふるさと文化館）」（37.5%）が3割半ばを超え、最も高くなっています。以下、「区内の公営屋内スポーツ施設（総合スポーツセンター・スポーツハウス）」（26.2%）、「区内のふれあい館・ひろば館」（24.4%）など、区立の施設が続いています。

## 【過去の調査結果との比較】

	平成 28 (2016) 年	平成 18 (2006) 年
1位	区内の生涯学習関連施設 (37.5%)	区内の公園・区営運動場などの野外活動施設(27.6%)
2位	区内の公営屋内スポーツ施設 (26.2%)	区立小・中学校、都立学校 (23.3%)
3位	区内のふれあい館・ひろば館 (24.4%)	区立の屋内スポーツ施設 (21.1%)
4位	区立小・中学校、都立学校 (12.1%)	区内民間の教育関連施設 (19.4%)
5位	区内の民間スポーツクラブ・ジム (11.8%)	区内の社会教育関連施設 (13.8%)

## (2) 生涯学習活動の方法

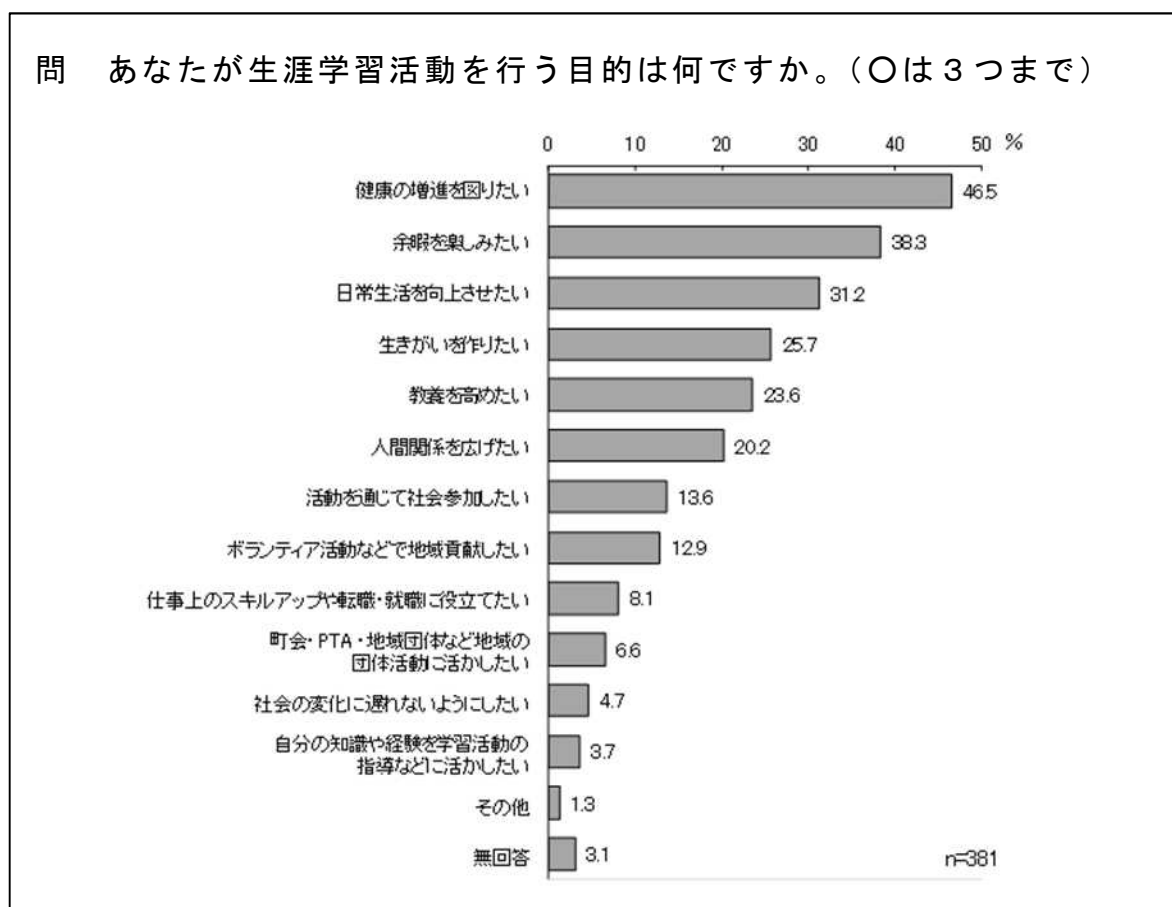


- 生涯学習活動に参加（参加予定含む）の方に、どのような方法で活動しているか聞いたところ、「区が主催する講座・教室・講演会」（43.0%）が4割を超え、最も高くなっています。これに続いて、「サークル活動や友人とのグループ活動」（27.0%）、「カルチャーセンター等の講座・教室」（19.2%）、「会員制のスポーツクラブ」（16.3%）、「町会・自治会などでの活動」（15.7%）の順となっています。

## 【過去の調査結果との比較】

	平成 28 (2016) 年	平成 18 (2006) 年
1位	区が主催する講座・教室・講演会 (43.0%)	サークル活動や友人とのグループ活動 (37.5%)
2位	サークル活動や友人とのグループ活動 (27.0%)	区が主催する講座・教室・講演会 (28.0%)
3位	カルチャーセンター等の講座・教室 (19.2%)	会員制のスポーツクラブ(16.4%)
4位	会員制のスポーツクラブ(16.3%)	町会・自治会などでの活動(15.5%)
5位	町会・自治会などでの活動(15.7%)	地域の子ども会・子育て・PTA などでの 活動(15.1%)

## (3) 生涯学習を行う目的

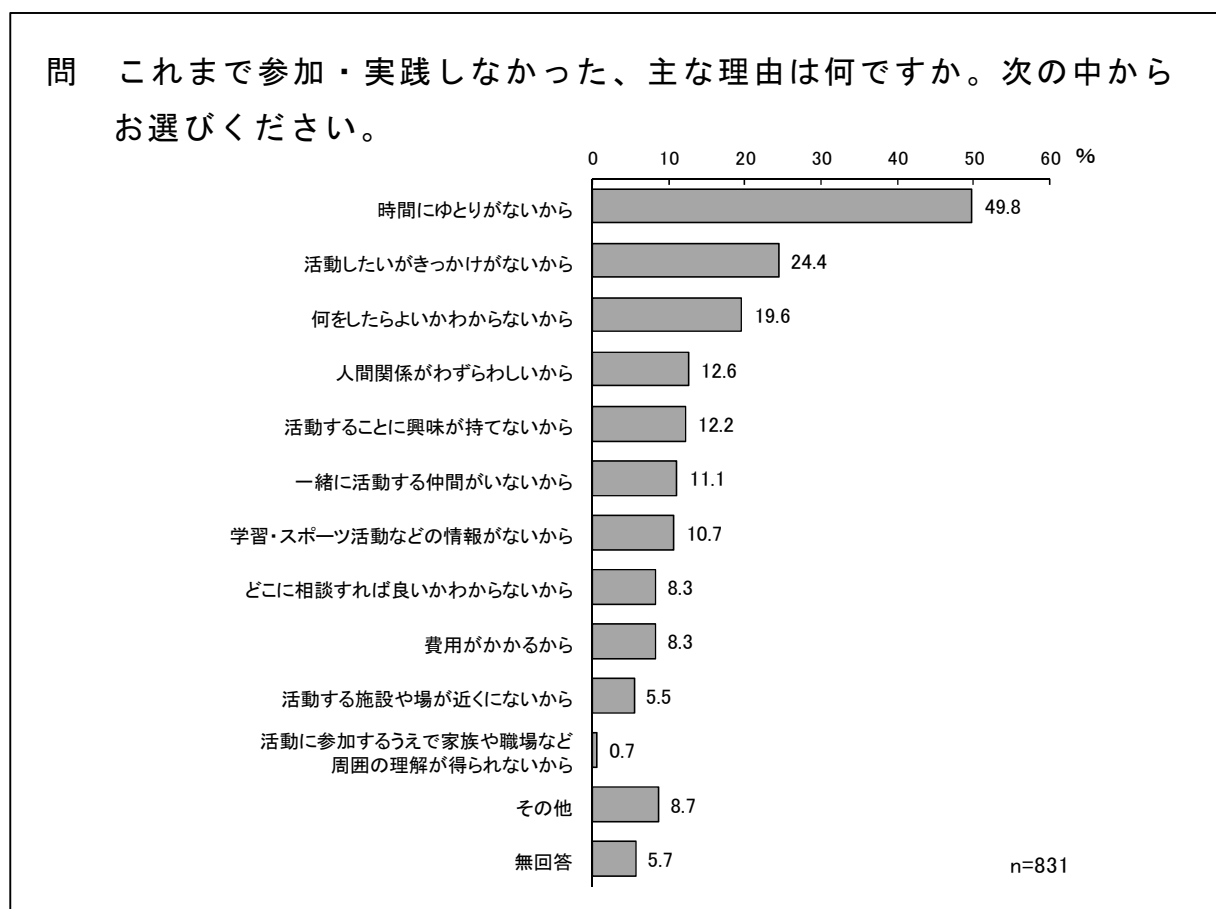


- 生涯学習活動に参加（参加予定含む）の方に、生涯学習を行う目的を聞いたところ、「健康の増進を図りたい」（46.5%）が4割半ばを超えて最も割合が高くなっています。これに続いて、「余暇を楽しみたい」（38.3%）、「日常生活を向上させたい」（31.2%）、「生きがいを作りたい」（25.7%）、「教養を高めたい」（23.6%）の順となっています。

## 【過去の調査結果との比較】

	平成 28 (2016) 年	平成 18 (2006) 年
1 位	健康の増進を図りたい(46.5%)	余暇を楽しみたい(47.7%)
2 位	余暇を楽しみたい(38.3%)	健康の増進を図りたい(47.2%)
3 位	日常生活を向上させたい(31.2%)	教養を高めたい(32.5%)
4 位	生きがいを作りたい(25.7%)	人間関係を広げたい(25.9%)
5 位	教養を高めたい(23.6%)	生きがいを作りたい(23.5%)

## (4) 生涯学習活動に参加しなかった理由



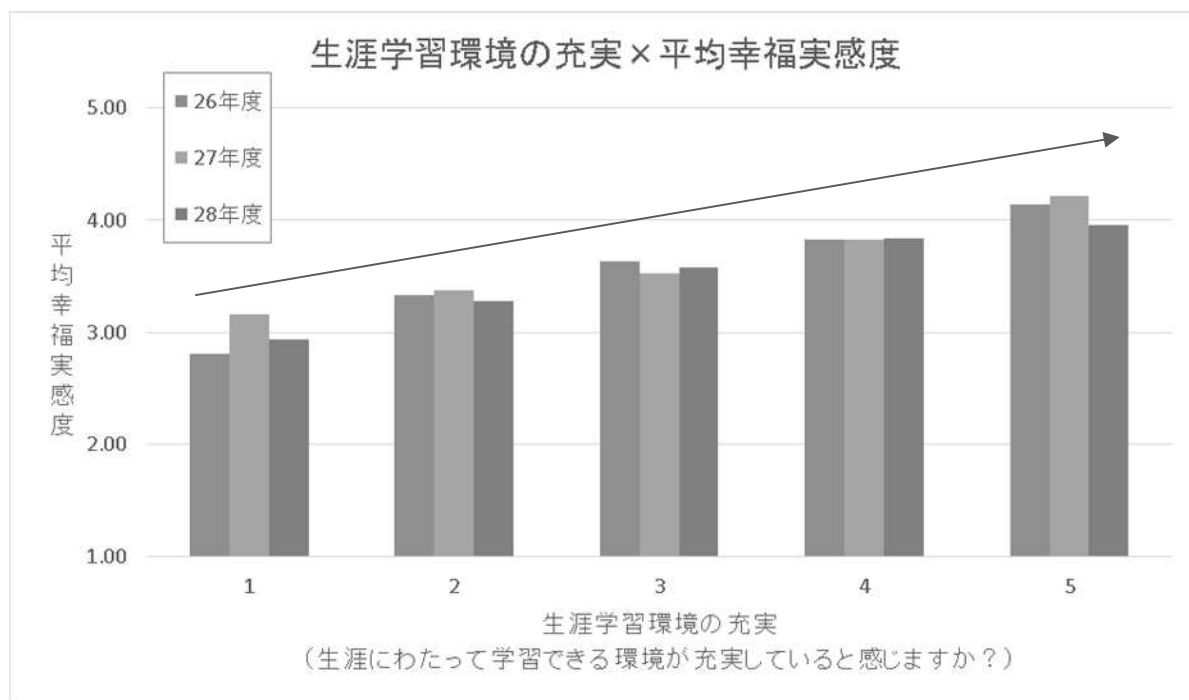
- 生涯学習活動に参加していない方に、参加しなかった理由を聞いたところ、「時間にゆとりがないから」(49.8%)が約5割と、最も割合が高くなっています。これに続いて、「活動したいがきっかけがないから」(24.4%)、「何をしたらよいか分からないから」(19.6%)、「人間関係がわずらわしいから」(12.6%)、「活動することに興味が持てないから」(12.2%)の順となっています。

## 【過去の調査結果との比較】

	平成 28 (2016) 年	平成 18 (2006) 年
1 位	時間にゆとりがない(49.8%)	時間にゆとりがない(52.4%)
2 位	活動したいがきっかけがない(24.4%)	活動したいがきっかけがない(28.3%)
3 位	何をしたらよいか分からない(19.6%)	学習・スポーツ活動などの情報がない(22.0%)
4 位	人間関係がわずらわしい(12.6%)	活動することに興味が持てない(17.7%)
5 位	活動することに興味が持てない(12.2%)	何をしたらよいか分からない(17.1%)

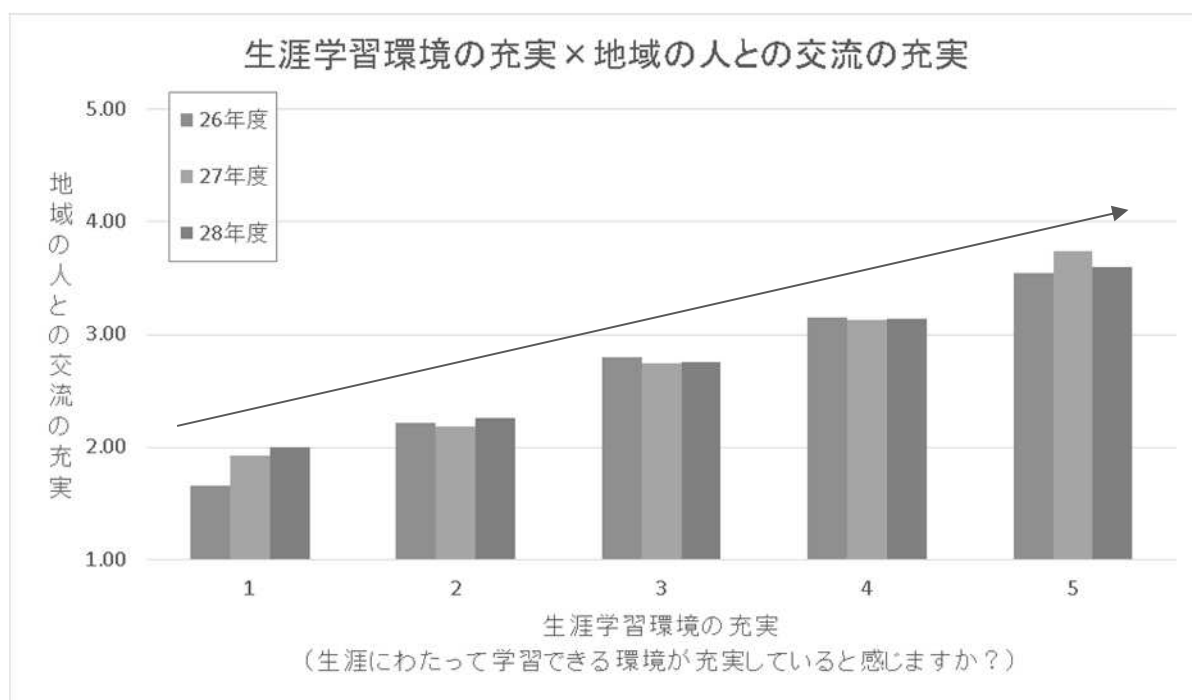
## 2 荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査結果

### （1）「生涯学習環境の充実」実感別 平均幸福実感度



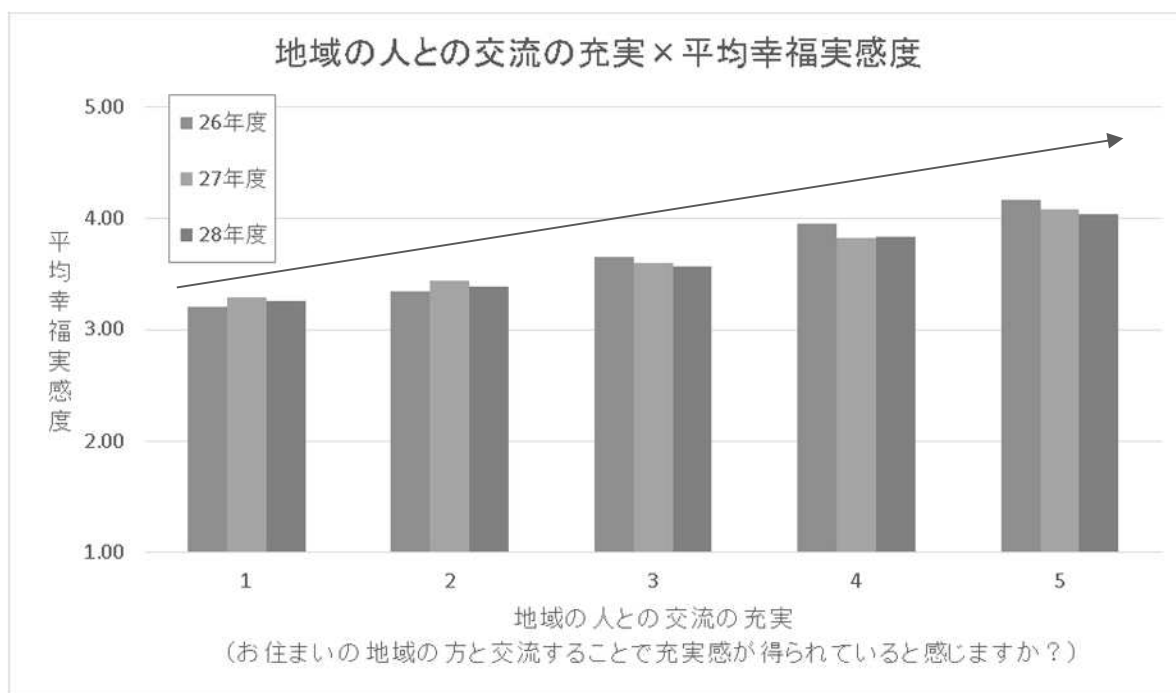
- 上記の図は、「生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？（生涯学習環境の充実）」の質問に対する回答別に幸福実感度の平均を示した図です。
- 「生涯学習環境の充実」の実感が高い人ほど、「幸福実感度」が高い傾向にあることがわかります。

## (2) 「生涯学習環境の充実」実感別 「地域の人との交流の充実」実感度



- 上記の図は、「生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？（生涯学習環境の充実）」の質問に対する回答別に「お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？（地域の人との交流の充実）」の平均を示した図です。
- 「生涯学習環境の充実」の実感が高い人ほど、「地域の人との交流の充実」が高い傾向にあることがわかります。

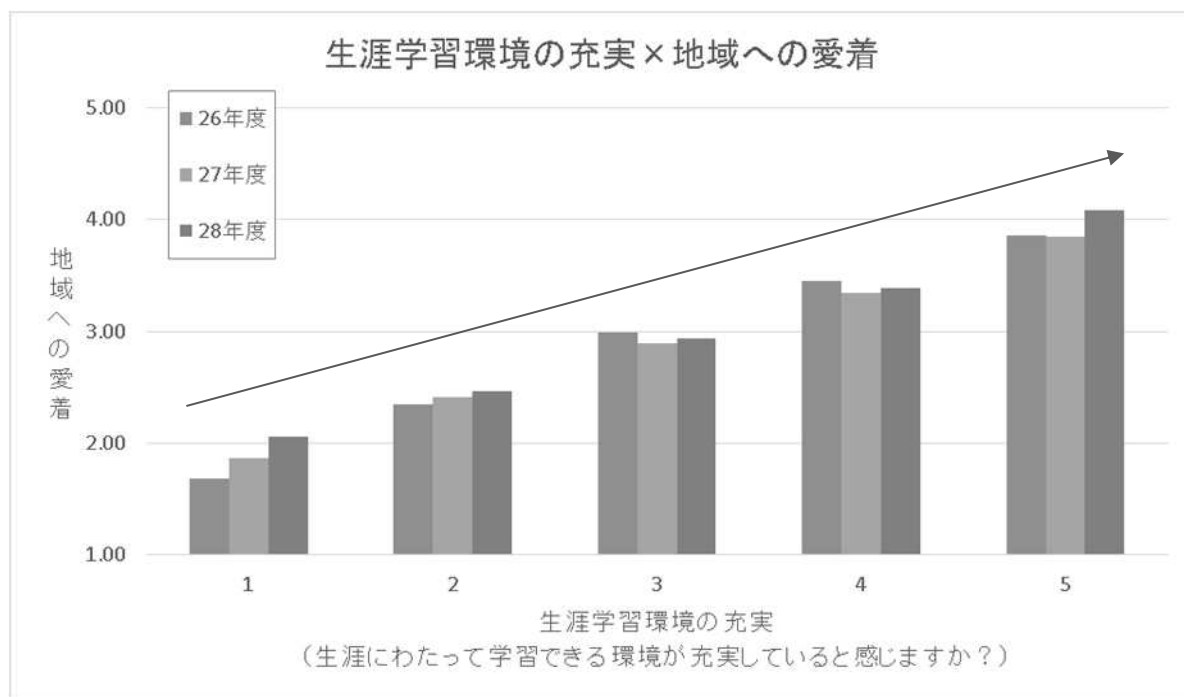
## (3) 「地域の人との交流の充実」実感別 平均幸福実感度



- 上記の図は、「お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？（地域の人との交流の充実）」の質問に対する回答別に幸福実感度の平均を示した図です。
- 「地域の人との交流の充実」の実感が高い人ほど、「幸福実感度」が高い傾向にあることがわかります。

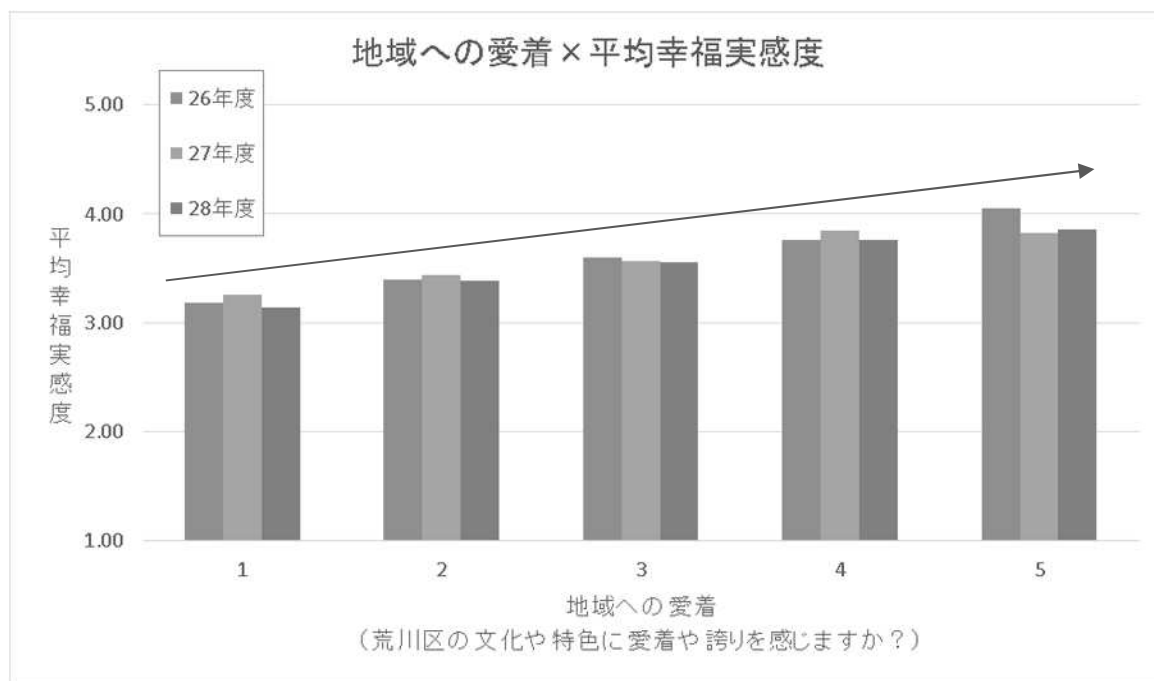


## (4) 「生涯学習環境の充実」実感別 「地域への愛着」実感度



- 上記の図は、「生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？（生涯学習環境の充実）」の質問に対する回答別に「荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？（地域への愛着）」の平均を示した図です。
- 「生涯学習環境の充実」の実感が高い人ほど、「地域への愛着」が高い傾向にあることがわかります。

## (5) 「地域への愛着」実感別 平均幸福実感度



- 上記の図は、「荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？（地域への愛着）」の質問に対する回答別に幸福実感度の平均を示した図です。
- 「地域への愛着」の実感が高い人ほど、「幸福実感度」が高い傾向にあることがわかります。

## (6) 平成28年度調査 幸福度と各指標の関係性(相関係数)

	分野	指標	相関係数
1	健康・福祉	健康の実感	0.5326
2	健康・福祉	心の安らぎ	0.5323
3	子育て・教育	子どもの成長の実感	0.5027
4	産業	生活のゆとり	0.4433
5	子育て・教育	親子コミュニケーション	0.4128

※相関係数…指標と指標の間関係性について、数値化したもので、  
関係性が高いものほど、数値が高くなります。

### 3 荒川区生涯学習推進本部設置要綱

#### 荒川区生涯学習推進本部設置要綱

平成26年4月1日  
26荒地生第5号  
(副区長決定)

#### (設置)

第1条 荒川区における生涯学習に関する施策を総合的に推進するため、荒川区生涯学習推進本部（以下「本部」という。）を設置する。

#### (所掌事項)

第2条 本部の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 生涯学習施策に係る基本方針の策定に関すること。
- (2) 生涯学習施策に係る協議、調整及び推進に関すること。
- (3) その他生涯学習の推進に必要な事項に関すること。

#### (本部の組織等)

第3条 本部は、本部長、副本部長及び本部員（以下「本部員等」という。）をもって組織する。

- 2 本部長は、区長をもって充てる。
- 3 本部長は、本部を総括する。
- 4 副本部長は、副区長及び教育長をもって充てる。
- 5 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故のあるときは、その職務を代理する。
- 6 本部員は、生涯学習の推進に関わる部の部長及び教育委員会事務局教育部長とし、別表1に掲げる者をもって充てる。

#### (本部の会議)

第4条 本部の会議（以下「本部会議」という。）は、本部長が招集する。

- 2 本部会議は、本部員等の半数以上の出席がなければ、開くことができない。
- 3 本部会議の議事は、出席した本部員等の過半数をもって決し、可否同数のときは、本部長の決するところによる。
- 4 本部長は、特に必要があると認めるときは、審議事項に関係のある本部員等以外の職員を本部会議に出席させ、意見を聴くことができる。

#### (幹事会)

第5条 第2条に規定する所掌事項を調査検討するため、本部に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、幹事長及び幹事をもって組織し、幹事長は地域文化スポーツ部長を、幹事は別表2に掲げる者をもって充てる。
- 3 幹事長は、幹事会を招集し、幹事会を主宰する。

- 4 幹事会は、本部会議に付議する事案及び本部会議で決定した事案の実施に必要な事項を協議する。
- 5 幹事長は、必要に応じて、協議事項に関係のある職員を幹事会へ出席させ、意見を聴くことができる。

## (事務局)

第6条 本部に事務局を置く。

- 2 事務局は、地域文化スポーツ部生涯学習課、スポーツ振興課、ゆいの森課及び地域図書館課とする。
- 3 本部の庶務は、地域文化スポーツ部生涯学習課において処理する。

## (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、推進本部の運営について必要な事項は、本部長が別に定める。

※平成29年度

別表1		別表2	
荒川区生涯学習推進本部		荒川区生涯学習推進本部幹事会	
本部長	区長	幹事長	地域文化スポーツ部長
副本部長	副区長	幹事	総務企画部総務企画課長
〃	副区長	〃	区政広報部秘書課長
〃	教育長	〃	管理部人材育成担当課長
本部員	総務企画部長	〃	区民生活部区民課長
〃	区政広報部長	〃	地域文化スポーツ部文化交流推進課長
〃	管理部長	〃	産業経済部産業振興課長
〃	区民生活部長	〃	環境清掃部環境課長
〃	地域文化スポーツ部長	〃	福祉部福祉推進課長
〃	産業経済部長	〃	健康部生活衛生課長
〃	環境清掃部長	〃	子育て支援部子育て支援課長
〃	福祉部長	〃	防災都市づくり部都市計画課長
〃	健康部長	〃	教育委員会事務局教育総務課長
〃	子育て支援部長		
〃	防災都市づくり部長		
〃	教育委員会事務局教育部長		

## 4 荒川区社会教育委員名簿

※平成 29 年度

No.	区 分	氏 名	備 考
1	学 識 経 験 者	岡 田 芳 子	元荒川区立小学校長
2	学 識 経 験 者	八 木 敦 子	政策研究大学院大学 非常勤講師
3	学 識 経 験 者	濱 上 悦 子	元荒川区立小学校長
4	学校教育 関 係 者	伊 藤 英 夫	荒川区立小学校長会 会長
5	社会教育 関 係 者	鶴 岡 朝 行	上智大学体育会サッカー部 元監督
6	社会教育 関 係 者	石 塚 昭一郎	荒川区文化財保護審議会委員
7	社会教育 関 係 者	佐 野 康 悟	青少年育成日暮里地区委員会 前会長
8	社会教育 関 係 者	岡 野 正 隆	荒川区少年団体指導者連絡会 前会長
9	社会教育 関 係 者	櫻 井 孝	荒川区青少年委員連絡会 OB会会長
10	社会教育 関 係 者	中 條 勉	荒川区青少年委員連絡会 前会長

## 5 検討の経過

日 程	主な内容
平成 29 年 5 月 31 日	<b>荒川区生涯学習推進本部</b> ・生涯学習推進計画（第三次）の改定方針について
平成 29 年 6 月 28 日	<b>荒川区生涯学習推進本部幹事会</b> ・第二次計画の進捗状況について ・第二次計画の成果と課題について
平成 29 年 11 月 10 日	<b>荒川区社会教育委員の会議</b> ・生涯学習推進計画（第三次）の方向性について
平成 29 年 12 月 27 日	<b>荒川区生涯学習推進本部</b> ・生涯学習推進計画（第三次）の素案について
平成 30 年 2 月 14 日	<b>荒川区生涯学習推進本部</b> ・パブリックコメントの実施結果について ・生涯学習推進計画（第三次）の策定について
平成 30 年 3 月 12 日	<b>荒川区社会教育委員の会議</b> ・生涯学習推進計画（第三次）の策定について

※パブリックコメント実施期間：平成 30 年 1 月 16 日～平成 30 年 1 月 30 日